

# 神奈川歯科大学 同窓会会報

神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念式典



143号 2026年1月



Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com/>



巻頭言	会長 大館 満	1
神奈川歯科大学同窓会「創立50周年記念式典・記念講演会」		2
創立50周年記念祝賀会		3
会務報告（令和7年7月から12月まで）		4
学術講演会報告 丸橋理沙先生講演会報告記	西郷 進太郎	6
山田良広先生講演会報告記	前畑 香	7
かかりつけ医と歯内療法専門医 診療連携のポイント	藤野拓郎	8
同窓便り 東北地区連合会		9
群馬県支部／埼玉県支部／千葉県支部		10,11,13
長野県支部／静岡県支部／大阪府支部		14,15,16
兵庫県支部／和歌山県支部／香川県支部		17,19,20
熊本県支部／鹿児島県支部		21,22
クラス会報告 18回生クラス会	山田良広	23
31回生クラス会	前畑 香	24
32回生クラス会	前畑 洋次郎	25
卒業生のページ 競技スキー部OB会開催報告	亀山 正	26
褒章・叙勲受章 令和7年叙勲、表彰		27
お知らせ		28

- 表紙題字：大館 満 会長
- 表紙写真：神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念事業実行委員会 イラスト風（広報委員）
- P.9～P.22の「同窓便り」に公益社団法人 日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会 PR キャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。

## 年頭のご挨拶

神奈川歯科大学同窓会

会長 大館 満



謹賀新年

皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年、10月18日の同窓会創立50周年式典、祝賀会を無事開催することができ安堵いたしております。開催にあたり会員の皆様にはご支援ご協力を賜りありがとうございました、心より感謝いたしております。

今回の式典には小泉 進次郎氏にご臨席を賜り素晴らしいご挨拶をいただきました。人を引き付ける魅力ある挨拶に感動いたしました。また、鹿島理事長のご講演ではご臨席を賜った多くの方から大学の危機を救った経営力へのアドバンテージと最新のITを使った講演に驚きの称賛をいただきました。式典の成功に大きなご支援をいただき、ありがとうございました。

記念誌の発刊、また、HPで式典、祝賀会の状況を一部、動画にて閲覧できるようにしておりますのでぜひご覧ください。

50周年記念式典を終え、まだ、祝賀ムード残っていますが、同窓会改革に舵を切らなくてはなりません。新しい形の同窓会を目指し理事会、会則改正特別委員会で現在、協議を進めております。75歳の会費免除会員の流れが既に5回生、6回生まで進んできています。毎年、1割から1.5割の会員が免除会員となります。

会議費としては理事会、常務連絡会、その他の会議や学術委員会主催の学術講演会を今以上にオンラインへシフトし、支出の削減につなげたいと思います。代議員会や代議員制の見直し、選挙制度等についてもいろいろな考え方があり多くの困難があると思いますが進めて行かなくてはなりません。

運営の事務費、需用費での経費見直しも急務です。会議等で使用される紙媒体削減、通信費等も対象です。同窓会名簿についても同窓会ホームページ活用によって効率化を進めて参りたいと思います。

さて、一昨年に続き、昨年の夏も酷暑で10月まで夏が続きました、日本のほとんどの人が温暖化の影響を体感させられました。7月、8月の患者さんの来院数も減少して、医院経営も厳しさを増しています。温暖化はますます進み、毎年深刻さを増しそうです。今後、地球規模の対応が必要ですが、トランプ氏をはじめ後ろ向きな対応が見られ、残念な限りです。世界のリーダーたちの英断を期待しております。

昨年、11月に第75回全国学校歯科医協議会に出席する機会があり、後席でコロナ禍の中で文部科学省から出された、公立学校での「校内での歯ブラシの禁止、あるいは自粛」の通達に対し意見交換ができました。全国学校歯科医協議会では2年ほど前に文科省に対して通達の終了をお願いしたとのことでした。ありがたいことですが都道府県、市区町村ではまだまだ多くの地区で通達を遵守しております。東京都では学校ごとに判断して校内での歯ブラシを始めているようです。飛沫等を減らす工夫している学校もあるとのことです。インフルエンザによる学級閉鎖が増えておりますが、文科省には放置ではなく校内での歯ブラシ環境の改善と通達の撤回をお願いしたいと思っています。

年が明け、本年も受験の終盤を迎えております、少子化が進む中、受験生は減少しております。同窓会として優秀な学生を集め、母校を応援していきたいと考えております。卒業生の推薦で子女でない受験生も認める「卒業生推薦枠」となり、入学金も免除され、気楽に推薦できる制度となっています。皆様の近隣のお知り合いの子女でも可能ですのでご紹介のほどよろしくお願いいたします。

会員の皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます、また、皆様のご健勝を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

## 神奈川歯科大学同窓会「創立50周年記念式典・記念講演会」

神奈川歯科大学同窓会「創立50周年記念式典・記念講演会」を下記のとおり開催しました。

日時：令和7年（2025年）10月18日（土）午後2時より

会場：横浜ベイホテル東急 アンバサダーズ ボールルーム

司会は秋本 進専務理事が務め、厳粛のうちに開式しました。

開式の辞は、相原元一副会長が述べ、創立50周年という節目を迎えられたことへの感謝と関係者への謝意が表されました。続いて、大館 満会長より式辞が行われ、同窓会のこれまでの歩みや今後の展望について述べられました。

来賓祝辞として、小泉 進次郎衆議院議員、公益社団法人 日本歯科医師会 瀬古口 精良副会長、公益社団法人 神奈川県歯科医師会 守屋義男会長、学校法人 神奈川歯科大学 鹿島 勇理事長から、それぞれご祝意と激励の言葉をいただきました。

来賓紹介は平良恵信副会長が行い、続いて創立50周年記念事業実行委員長 桂 一平副会長より同窓会の沿革概要を年代の出来事、およびトピックスをスライドで示しながら説明をしました。祝電披露では、上岡新二副会長が全国各地から寄せられた祝電を紹介し、会場は祝意に包まれました。

### 記念講演会

式典に引き続き、学校法人 神奈川歯科大学 鹿島 勇理事長を講師にお迎えして「時代を超えて 次の、その先へ」と題した記念講演会が行われました。

講演では、大学の歩みや歯科医療を取り巻く環境の変化、今後の教育・医療のあり方などについて、具体的かつ示唆に富んだ内容が語られ、出席者一同、深い感銘を受けました。

### まとめ

本式典ならびに記念講演会は、多くの関係者の協力のもと、盛会のうちに終了しました。創立50周年という節目を契機として、同窓会および母校のさらなる発展を誓い合う貴重な機会となりました。

## 創立50周年記念祝賀会

2025年10月18日（土）、神奈川歯科大学同窓会 創立50周年記念式典・記念講演会終了後、クイーンズグラウンド ボールルームにて「創立50周年記念祝賀会」が開催されました。

祝賀会は山口幸一副会長の司会のもと、厳かな雰囲気の中で進行されました。

冒頭にはソプラノ歌手・高野 百合絵様の出演による記念コンサートが行われました。オペラ『椿姫』より「乾杯の歌」、オペラ『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」ほか、「夏の名残のバラ」「翼をください」、オペラ『カルメン』序曲～ハバネラ、ミュージカル『マイ・フェア・レディ』より「踊りあかそう」、「ユー・レイズ・ミー・アップ」、ミュージカル『ガール・クレイジー』より「アイ・ガット・リズム」まで、親しみのある全8曲を熱唱し、会場は大きな感動と拍手に包まれました。

続いて、金子守男副会長による開会の辞、大舘 満会長の挨拶が行われました。さらに来賓として、公益社団法人 日本歯科医師会 村上恵一副会長、神奈川歯科大学 櫻井 孝学長よりご祝辞を賜りました。

一般社団法人 日本専門医機構 今井 裕理事長の乾杯のご発声で和やかな祝宴が始まりました。歓談の途中では出席者全員による校歌斉唱が行われ、会場は一体感に包まれました。

最後に、山田昭彦副会長による閉会の辞をもって、盛会のうちに祝賀会は終了しました。

神奈川歯科大学同窓会会員専用 HP  
(創立 50 周年記念事業の様子をご覧ください)

詳細は事務局へお問い合わせ下さい。

## 令和7年7月から12月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師
令和7年	4	金	第2回広報委員会（在宅校正）	
	5	土	北海道地区連合会第55回総会	大館会長
7月	6	日	令和7年度第1回予算決算特別委員会 令和7年度第1回会則・規則改正特別委員会	
	9	水	第4回学術委員会（Web会議）	
	13	日	元神奈川歯科大学 口腔生化学 教授 齋藤 滋先生を偲ぶ会	大館会長
	18	金	第3回情報処理部 Zoom 練習会	
	19	土	第2回理事会（Web会議） 創立50周年記念事業第7回実行委員会（Web会議）	
	26	土	宮崎県支部創立50周年記念祝賀会・学術講演会	講師・来賓：鹿島理事長、大館会長、平良副会長
	29	火	第3回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会関東支部協議会（Web会議）	山中常務、別部・前畑理事
8月	9	土	鶴見大学歯学部同窓会との二校合同役員会	大館会長、山口・金子副会長、秋本専務、植村常務、芦田理事
	17	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 『身元確認研修会 -実習コース-』	講師：山田良広先生
	20	水	第5回学術委員会（Web会議） 創立50周年記念事業第8回実行委員会（Web会議）	
	23	土	第41回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 大阪府支部夏季学術講演会	山中常務、別部・前畑理事（学術委員会） 藤野委員長、山野・西郷委員 講師：佐久間 利喜先生
	30	土	香川県支部学術講演会 鹿児島県支部学術講演会	講師：香西雄介教授（35回生） 講師：鹿児島大学予防歯科分野 玉木直文教授
	31	日	東京歯科大学同窓会 創立130周年記念式典・講演会 記念祝賀会	大館会長
	7	日	埼玉県支部三笠会令和7年度総会・学術講演会	桂副会長、講師：村岡秀明先生（3回生）
9月	17	水	第6回学術委員会（Web会議）	
	18	木	日本歯科医師会役員就任披露パーティー	大館会長
	19	金	第4回情報処理部 Zoom 練習会	
	20	土	第3回常務連絡会（Web会議） 創立50周年記念事業第9回実行委員会（Web会議）	
	21	日	私立歯科大学歯学部同窓会・校友会連絡協議会 12校会議ならびに時局講演会・懇親会	12校会議・時局講演会・懇親会 大館会長、秋本専務 時局講演会・懇親会 山口・金子副会長、植村常務
	25	木	学会理事との連絡協議会	大館会長、秋本専務、山中常務、別部・前畑理事、（学術委員会）藤野委員長、三橋・大橋副委員長
	27	土	東北地区連合会総会・福島県支部学術講演会 和歌山県支部 第34回通常総会・学術講演会	大館会長、講師：小林 優先生（14回生） 講師：玉置勝司先生（13回生）
30	火	第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第2回準備会（Zoom会議）	秋本専務、山中常務、別部・前畑理事、学術委員会	
10月	4	土	熊本県支部学術講演会 神奈川県歯科医師会第10回ワインの会 長野県支部総会・学術講演会 兵庫県支部学術講演会	講師：横田久世先生 大館会長 講師：石井信之先生（14回生） 講師：石井 宏先生（24回生）
	7	火	第4回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 関東支部協議会（Web会議）	山中常務、別部・前畑理事
	10	金	第5回情報処理部 Zoom 練習会	
	11	土	第3回理事会（Web会議） 創立50周年記念事業第10回実行委員会（Web会議）	
	13	月	32回生クラス会	
	18	土	神奈川歯科大学同窓会創立50周年記念式典 記念講演会「時代を超えて次のその先へ」 講師：鹿島 勇理事長 ソプラノ歌手 高野 百合絵 コンサート 記念祝賀会 近畿北陸地区代表者会議	大館会長、山田副会長
	19	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 神奈川歯科大学同窓会創立50周年記念学術講演会 『かかりつけ医と歯内療法専門医診療連携のポイント』 18回生クラス会・山田良広教授退任祝賀会	大館会長 講師：尾上正治先生、佐氏英介先生 金子副会長

月	日	曜	行 事	出席者・講師
10月	25	土	九州地区連合会福岡大会懇親会	大館会長、平良副会長、奥村監事
	27	月	第7回学術委員会 (Web 会議)	
11月	8	土	第72回全国歯科大学同窓・校友会懇話会	大館会長、相原副会長、植村常務
	9	日	神奈川歯科大学同窓会本部・静岡県支部共催学術講演会 静岡県支部40周年記念学術講演会 『-保険収載に備えて学ぼう！-従来法コンプリートデン チャーとデジタルデンチャーの違い』	大館会長、小野副会長、山中常務、別部理事 講師：前畑 香先生
			静岡県支部創立40周年記念式典・学術講演会	大館会長、小野副会長 講師：前畑 香先生 (31 回生)
	15	土	第2回監事会	
			第4回理事会	
	16	日	31 回生クラス会	
	18	火	第8回学術委員会 (Web 会議)	
			第42回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 主管校による第3回準備会 (Zoom 会議)	秋本専務、山中常務、別部・前畑理事、 学術委員会
	22	土	群馬県支部学術講演会	講師：前畑 香先生 (31 回生)
	23	日	16 回生クラス会	
29	土	東京都支部学術講演会	講師：昭和医科大学歯学部歯科矯正学 中納治久教授 (22 回生)	
12月	7	日	第2回予算決算特別委員会	
			第2回会則・規則改正特別委員会	
			令和7年度第1回表彰選考委員会	
	12	金	第3回広報委員会 (Web 会議)	
15	月	第9回学術委員会 (Web 会議)		

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

## 今日もTRADスピリットで。

大正12年の創業以来、田中歯科器械店は、  
伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、  
革新し続けることで発展してまいりました。  
そのスピリットを表現するシンボルが TRAD。

Tradition を意味するだけでなく、  
Tanaka Realize Advanced Dental という強い意志を表しています。  
田中歯科器械店はこれからも TRAD スピリットで、  
国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

- 本 社  
〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8  
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550
- 神奈川支店  
〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3  
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999
- 新潟支店  
〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41  
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020
- 日本歯科大学営業部附属病院売店  
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16  
日本歯科大学附属病院内  
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553
- 日本歯科大学営業部生命歯学部売店  
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20  
日本歯科大学生命歯学部内  
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570
- 日本歯科大学新潟生命歯学部売店  
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8  
日本歯科大学新潟生命歯学部内  
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859
- 神奈川歯科大学営業所  
〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82  
神奈川歯科大学歯学部内  
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

## 丸橋理沙先生講演会報告記

西郷 進太郎 (学術委員・43 回生)



2025年4月27日(日)、神奈川歯科大学附属横浜研修センターにて、フリーランス歯科衛生士の丸橋理沙先生をお招きし、『歯科医院と共に歩める歯科衛生士になろう：基本治療からメンテナンスまで真に診れる歯科衛生士を目指して』と題して学術講演会がハイブリッド形式で開催された。

講演では、丸橋先生が提唱する「LISA METHOD 10」が紹介された。これは、歯科衛生士が臨床で即実践できる10の技術と考え方を体系化したものであり、講演では、歯科衛生士の本質的な役割とは、科学的根拠に基づいた確実な基本治療の遂行と、患者一人ひとりと向き合う継続的な信頼関係の構築にあることが強調された。

また、診療の場で求められる「診る力」すなわち観察・分析力や、医療チームの一員としての自覚と協働の姿勢についても説かれ、参加者に深い示唆を与えた。

午後にはキュレットのシャープニング実習も行われ、参加者は約1時間にわたり黙々と手を動かしながら学習した。丸橋先生は、一人ひとりの作業に丁寧に目を配り、刃の角度や圧力など実践的なコツを直接指導された。

本講演会は、臨床現場における歯科衛生士の役割を再確認するとともに、日々の診療に活かせる多くの学びを提供する有意義な機会となった。



## 山田良広先生講演会報告記

前畑 香 (学術担当理事・31 回生)

2025年8月17日、神奈川歯科大学にて、神奈川歯科大学法医学講座歯科法医学分野教授 山田良広先生をお招きし、神奈川歯科大学法医学講座歯科法医学分野共催『身元確認研修会 ―実習コース―』と題し、学術講演会が行われました。本学術講演会はハンズオンセミナー形式とし、午前は山田先生と同分野 山本伊佐夫先生により、本学同分野で実際に行っている身元不明遺体の身元確認の実情を示された上で、歯科法医学に関する概論を解説され、午後は法医学実習室で、デンタルチャートの書き方に関する実習と遺体様マネキンを用いた所見採取・肉眼写真・エックス線撮影の実習と、解剖棟地下法医解剖室でご遺体を用いた所見採取・肉眼写真・エックス線撮影の実習が行われました(尚、ハンズオンセミナーは受講生38名が班分けされ、本学歯科法医学分野の先生方がインストラクターとしてご対応してくださいました)。

現在の我が国は、近年発生した2011年東日本大震災、

2016年熊本震災そして2024年能登半島地震に代表される通り、世界的に災害大国であります。現在、南海トラフ巨大地震や首都直下型地震の発生により多くの死者がでることが想定されていますが、いつ起こるかもわからない大規模災害で、私達は歯科医師として、身元不明遺体の身元確認を行うかもしれません。そのような事態に、歯科医師として備えることは重要なことです。本ハンズオンコースを通じ、歯科における身元確認を実践的に学ぶことができたことは、受講生全員が今後活かすことができると確信することができたのではないかと考えます。

ご遺体を用いた貴重な本ハンズオンセミナーは、講師である山田先生を中心に、本学歯科法医学分野の先生方の全面的なご協力のもとに行うことができました。本学同窓会より、感謝の意を込めて御礼申し上げます。



講師 山田良広先生、ご協力頂いた本学歯科法医学分野の先生方と本部同窓会学術スタッフ

## かかりつけ医と歯内療法専門医 診療連携のポイント

藤野拓郎 (学術委員・43 回生)

2025年10月19日(日) 神奈川歯科大学附属横浜研修センターにおいて、創立50周年記念学術講演会がハイブリッドにて開催された。

尾上正治先生と佐氏英介先生を講師にお迎えし、『かかりつけ医と歯内療法専門医 診療連携のポイント』と題した講演会が開催された。複雑な根管治療において、患者に最適な治療を提供するために不可欠な、かかりつけ医と専門医の適切な連携のあり方について、実践的な知見が共有された。

講演では、連携医療の質を高めるための三つの重要

なポイントが強調され、第一に、治療計画の初期段階における両者の役割分担の明確化。第二に、患者の意向を尊重しつつ、治療進行状況の正確な情報共有を図ること。第三に、互いの専門分野への理解を深め、診療の質を向上させるための継続的な情報交換の必須性。それぞれのポイントを実際の症例を通して解説し、日常臨床に活かせる具体的な手法を解説していただいた。本講演を通して、連携医療のさらなる質向上に繋がる、大変有意義な機会となっただろう。





## 東北地区連合会ならびに学術講演会報告

小針啓司 (39 回生・福島県支部)

2025年9月27日(土)14時から郡山ビューホテルアネックスにて令和7年度神奈川歯科大学同窓会東北地区連合会総会ならびに学術講演会が、当番県である福島県支部主催で開催された。参加者は本部より来賓として大館 満同窓会会長をお招きし、そして今回の学術講演の講師である神奈川歯科大学顎顔面病態診断治療学講座前教授の小林 優先生はじめ、東北地区連合会員は各支部長含む、青森県支部3名、岩手県支部2名、宮城県支部2名、山形県支部5名、福島県支部15名に加え、木下信之先生(21回生 埼玉県開業)が参加し、合計30名の同窓生が集い盛大に行われた。

総会に先立ち行われた学術講演会では小林 優前教授より「口腔顔面痛の診断と治療」という演題で御講演いただいた。講演では口腔顔面痛の中でも我々が日常接している歯原性歯痛(歯髄炎、歯周炎など)とは異なる、非歯原性歯痛である筋・筋膜性歯痛や、三叉神経痛、舌咽神経痛、帯状疱疹後神経痛に代表される神経障害性歯痛など、原因の特定が難しい口腔顔面痛について、その生理的なメカニズムに加え病態や診断、治療について実際のケースも交えながら説明され、分かりやすく有意義な講演となった。

参加者全員での記念撮影をはさみ、その後行われた

総会では、大館 満同窓会長より祝辞を頂き、物故会員黙祷(白崎俊幸先生 6回生宮城県支部、東條利昭先生 17回生山形県支部)の後、報告・協議に入った。報告では、前年度東北地区連合会総会の会計報告、また、各支部長から支部の会員数や活動等の現況報告があった。協議に移り、総会における予備登録の在り方や、SNS(グループLINE等)を用いた各支部間の連絡の検討など活発に議論が行われた。最後に次年度開催県である加藤克彦山形県支部支部長より挨拶があり総会は終了し、懇親会に移った。



小針啓司先生

懇親会では、初めに主管である鈴木啓之福島県支部支部長から挨拶があった。続いて海野 仁福島県歯科医師会会長もかけつけ歓迎の祝辞をいただき、加藤克彦山形県支部支部長の乾杯で宴会が開始した。懇親会では福島県産の食材を使ったコース料理に舌鼓を打ちながら親睦を深め盛会のうちに終了した。各支部とも高齢化や会員増強に課題を残すが東北一丸となって今後も同窓会を盛り立てたい。最後にご支援いただきました同窓会本部事務局に感謝申し上げます。



令和7年度 神奈川歯科大学同窓会東北地区連合会総会



よ坊さん

## 群馬県支部学術講演会報告

飯野亮介 (27回生・群馬県支部)

2025年11月22日、前橋市の群馬県歯科医師会館にて毎年恒例の神奈川歯科大学同窓会群馬県支部学術講演会が行われました。土曜日の夜19時30分からという、先生方におかれましては仕事終わりで大変お疲れの遅い時間からのスタートにも関わらず、学内外、県内各地より20名を超える先生方にご参加いただきました。

講師として本校31回生、神奈川県三浦郡葉山町にてご開業の、ナカエ歯科クリニック院長・神奈川歯科大学特任教授 前畑 香先生をお招きし、「高齢者に配慮した義歯治療を目指して デジタル義歯治療のススメ」という内容でご講演いただきました。

IOS (口腔内スキャナー)、3Dプリンタ等をはじめとする近年急速に普及し始めた数々の歯科用デジタルデバイスの義歯治療への応用法や、その際の義歯製作時の注意点、アナログ義歯からの考え方の切り替えなど、トピックに溢れた大変素晴らしい内容でした。また、質疑応答の場面では、会場内の先生から「3Dプリンターを用いて製作されたデジタル義歯の寿命は？」との問いに、前畑先生は「半年です。」とお答えになりました。その答えに会場がどよめいたのち、「同じ義歯を何年も使い続けることは、清潔であるとはいいがたく、デジタルデータさえ保存しておけば、万一破損しても新しい清潔な義歯を即座に製作し、患

者さんにお渡しできます。それがデジタル義歯の利点です。」というような主旨のご回答をされておりました。自分といたしましては、一度製作した義歯を長年にわたってその患者さんに使っていただいていることを一種のステータスであると思っておりましたが、それはとんでもない勘違いだったのかもしれない、と大変ショックを受けるとともに、今後の義歯治療の発展に大変希望が持てました。



飯野亮介先生

また、歯科の世界が急速にデジタル化し、歯科医師の知識や、形成等の臨床技術がダイレクトに最終的な補綴物などに反映されることで、補綴物製作時に今までアナログ的なすり合わせで何とかできていたことが今後はごまかしの効かない時代になるであろうと痛感いたしました。

講演会後に講師の先生を囲んでの懇親会も行われ、これも毎年恒例の校歌斉唱が大変盛り上がり、盛会のうちに幕を閉じました。

前畑 香先生、遠路はるばるお越しいただき、また貴重なご講演をいただき、同窓会群馬県支部会員一同、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。





## 埼玉県支部同窓会（三笠会）総会・学術講演会

北川 純（16 回生・埼玉県支部）

2025年9月7日に神奈川歯科大学埼玉県支部同窓会（三笠会）総会ならびに学術講演会が大宮ソニックシティー会議室にて開催されました。

総会は高橋 朗会長の下、平澤克也専務理事の司会により諸報告の後、選任された渋谷孝順先生を議長に選出し議事が行われました（出席者15名、委任状48名）。令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算案について大島 大会計理事による説明が行われ、会員の承認が得られて総会は終了となりました。

総会に引き続いて北川 純学術理事の司会で学術講演会に移行しました。神奈川歯科大学同窓（3回生）で、歯科医師なら知らない人はいないと思われる千葉県市川市開業の村岡秀明先生を講師に招聘し、「私のデジタル義歯臨床」という演題にて講演していただきました。村岡秀明先生は説明するまでもなく、義歯臨床の第一人者で「総義歯仕事人」と称されるほど、入れ歯治療、特に総義歯の臨床に熱意をもち、長年にわたって研鑽を積んでこられた先生です。全国各地で講演活動を行っており、多くの歯科医師への指導にも尽力されています。2014年から義歯装着体験を行うため、自身の抜歯を順次行い、本年9月現在で下顎は無歯顎、上顎は2歯を残すのみということで、8020ならぬ7802という状況とのことです。実体験を伴う現役床義歯専門医による義歯使用の難点の指摘は信憑性が高く、とても有意義な情報であると思いました。少数歯残存の局部床義歯では胡麻やイチゴは咀嚼困難であったのに対して総義歯になったらそれらも食べられるようになったとのことです。1～2残存の場合、凄腕の歯科技工士が作っても残存歯部が支点となって動きが生じるので義歯床と粘膜部にイチゴの種とか細かい食片が入り込み、物によっては痛くて咀嚼できない場合もあるが、総義歯となれば吸着により食片の入り込みは生じないとのことです。また少数歯残存状態で抜歯して総義歯となる場合、抜歯前に総義歯となった場合に起こりうることを事前に告知しておくことが大切で、総義歯に慣れるまでは良く咀嚼できなかつたり外れ易かつたりするので場合によっては義歯安定剤を使ってもらうこともあるとのことで、自転車に初めて

乗った場合にいきなり上手にハンドリングできないのと同様とのことです。新しい靴を新調して履いて直ぐに100m全力疾走することはないのと同様、義歯装着後に硬い煎餅をテストフードに用いる必要性は薄いとのことでした。

床義歯の作製のための直接法でのデジタル印象については、上顎の部分床義歯については可能であるのに対して下顎の特に総義歯では十分な印象は不可能です。可動粘膜があるので、歯槽骨の形態のための印象採得（ボディコン印象）が困難だからです。そこでコピーデンチャー（治療用義歯）をアナログ的に作製する必要があります。ここはデジタルデンティストリーであっても譲れない点だそうです。床形態、粘膜面形態、咬合が十分に機能できるように調整が完了した治療用義歯が完成したら、その義歯をデジタル印象して3Dプリンター等により完成させます。人工歯部のような審美性が絡むところはパソコンのアプリケーションにて修正できるから治療用義歯の時点ではそれほど気にしなくて良いようです。デジタル印象については口腔内用デジタルスキャナーを使う方法、ラボに出す方法（この場合義歯を預かる必要がある）、CBCTを使う方法があり、CBCTを使う方法が最も早く簡単であるが、解像度に難があるそうです。また治療用義歯のレジン床部の厚みが薄いとデジタル印象では抜けてしまう場合があるので、外側の厚みを増してからスキャンして、完成後に削合するようにします。こうしてデジタルコピーして作製された最終義歯は重合収縮もなく、吸着力も良好で殆んど無調整で装着できるということです。村岡先生自身が患者でなおかつ術者であるケースなので、両方の観点から考察できるという素晴らしい講演会でした。とても楽しい講演会で、その後の懇親会でも、画家でもあり作家でもある村岡先生とは神奈川歯科大学同窓ということもあって親睦も深まりました。来年は上下総義歯となる予定とのことなので第2弾として「続・デジタル義歯臨床」の講演を企画する次第です。





## 夏季納涼会の開催

岡田浩嗣 (33 回生・千葉県支部)

2025年8月31日(日)午後12時より、千葉県支部における夏季納涼会が開催されました。コロナ禍で中断をしていた時期もありましたが、千葉県支部では以前から在校生との親睦を深めるための懇親会を年に一度開催してきました。そして、一昨年からは屋形船を貸し切りにして在校生との懇親会および会員や家族を含めた夏季納涼会として開催をいたしております。

当日は穏やかな青空が広がる屋形船日和となり、浦安市の船宿「吉野屋」にて屋形船を仕立てて納涼会の会場といたしました。12時ちょうどに出航するため時間厳守での乗船でしたが、誰一人遅れることもなく無事に全員集合し、一同を乗せた船は出航しました。

屋形船は葛西臨海公園の横を通過し夢の島を抜けて、東雲運河を通り有明を通過する航路で目的地のお台場に向けて航行していきました。出航して全員が着席してから和田 功専務理事(23回生)の司会進行のもと、まずは椎野広己会長(17回生)より挨拶をいただきました。その後、千葉県出身で大学の歯科法医学分野 山田良広教授からは大学の現況などについてのお話をいただき、続いて木村 淳先生(10回生)による乾杯のご発声で納涼会が始まりました。

我々を乗せた屋形船は快適に目的地のお台場に到着し、お座敷で船宿自慢の料理に舌鼓を打ちます。お台

場では暫く停船し、屋形船の2階には展望デッキがありますので数名の方は外に出て普段見ることのない風景を楽しんでおられたようですが、まだまだ暑い時期でしたのでほとんどの方は船内で歓談されていたようでした。



岡田浩嗣先生

その後帰路につきますが、葛西臨海公園を通過し東京ディズニーランドの横を通過すると間もなく帰港となります。前会長の長田一宏先生(14回生)より閉会のお言葉をいただき、午後2時半くらいに帰港となりまして、参加者全員で記念撮影をして屋形船での納涼会は終了となりました。

家族連れの方もいたため二次会は有志でということでしたが、こちらにもたくさんの方が参加してください、最後まで盛り上がった納涼会となりました。

参加者は会員やご家族など大人18名、子供(0歳から15歳まで)5名の参加、また三世代で参加していただいたご家族もあり、総勢23名の方々に参加していただき大変賑やかな納涼会になりました。次回もたくさんの方々に参加していただき、さらに賑やかな活気のある納涼会を開催し千葉県支部を盛り上げていきたいと思っております。



屋形船での乾杯



帰港後の記念撮影



## 令和7年度神奈川歯科大学同窓会長長野県支部総会

堀 晶彦 (39回生・長野県支部)

令和7年度神奈川歯科大学長野県支部同窓会が10月4日(土)長野市相鉄フレッサイン長野駅善光寺口にて開催され、会員15名が出席しました。

総会では令和6年度収支報告および令和7年度予算案が可決されました。また3年後にむかえる支部50周年事業について協議されました。

総会終了後、本学特任教授石井信之先生より「革命的变化を遂げた歯内療法～昭和の常識は令和の非常識?～」と題してご講演をいただきました。

1945年にGrossmanとIngleによって歯内療法は科学的根拠に基づいた治療として確立されました。1945年以降の約50年間は大きな進歩がなく、1983年当時、卒業後の進路に歯内療法学講座を選択すると周囲から「エンドはThe End」だと言われていたそうです。1990年以降、生体傷害性を有する薬剤の使用中止や歯内療法の使用機材・器具の開発と改良が重ねられ、2000年を境に世界の歯内療法は革命的变化を遂げたとのこと。従来の歯内療法は疾患原因が特定出来

ない症例に遭遇していましたが、歯科用マイクロスコープによる直視下の歯内療法に変化して疾患原因が明確化されました。また、形状記憶合金(Ni-Tiファイル)による迅速で正確な根管形成、適切な根管消毒、および三次元根管封鎖が可能な歯内療法として大躍進しました。参加された先生方は昔を懐かしむとともに現在の治療について拝聴しておりました。また、デンツプライシロナ社の協力のもと最新の根管拡大装置の体験をさせていただきました。

講演終了後、記念撮影を行い懇親会が行われました。支部会長高野恭平先生より挨拶、石井信之先生からご祝辞をいただき、和気藹々とした雰囲気の中、久しぶりにお会いする先生方と歓談し楽しい時間を過ごしました。多くの先生が更けゆく長野市の夜に誘われて馴染みの店で盃を交わしました。

ご参加していただいた先生方、ありがとうございます。





## 静岡県支部創立40周年記念式典および本部・支部共催学術講演会

柴田武士 (29 回生・静岡県支部・専務理事)

2025年11月9日、ホテルアソシア静岡(静岡市)にて、静岡県支部創立40周年記念式典が開催され、大館 満会長、平野明弘静岡県歯科医師会会長よりご祝辞をいただきました。また、神奈川県葉山町ご開業の神奈川県歯科大学特任教授 前畑 香先生による『-保険収載に備えて学ぼう！-従来法コンプリートデンチャーとデジタルデンチャーの違い』と題した本部・静岡県支部共催学術講演会が行われ、54名(対面のみ)の会員が受講しました。

前畑先生は、現在の超高齢社会における要支援および要介護高齢者の増加による義歯治療の需要増加と、歯科技工士人口減少による製作補綴装置の供給減少に言及され、歯科医療DXにおけるデジタル義歯治療の必要性をお話しされました。特に、近年の無歯顎高齢者は高度顎堤吸収や顎機能障害に加え、運動機能障害や精神障害を併発している場合があり、従来法全部床義歯製作で行っている最終印象(精密印象)のための機能運動を十分に行うことができない場合があるとされました。そこで、装着する現義歯の義歯床辺縁形態・

適合・咬合・顎間関係をスキャンしデータ取得することで、3Dプリンターによる3Dプリント義歯製作やミリングマシンによるミルド義歯製作を行う方法が有効であることを示されました。デジタル義歯治療は、単に全部床義歯製作をデジタル化したものではなく、少子高齢化社会の問題点を解決する糸口になるとのことです。全く幸いなことに本講演会后、2025年12月より3Dプリント義歯が保険収載されることが発表されました。3Dプリント義歯の保険収載決定のまさに直前に、前もってデジタル義歯治療に関して学ぶことができたことは、受講する会員にとって非常に有用であったと感じます。

記念式典および講演会の終了後に同会場にて祝賀会が開催されました。本部より来静された役員先生方および、当支部とともに東海地区連合会を形成する愛知県、三重県両支部の先生方と大いに親睦を深めることが出来たと思います。同窓会のさらなる発展のため、支部会員一同、今後も活動していきたいと考えております。



2025年11月9日 神奈川県歯科大学同窓会静岡県支部創立40周年記念式典(於 ホテルアソシア静岡)

最前列左より、石井40周年実行委員長、相原副会長、浅井愛知県支部長、浅野三重県支部長、川田静岡県支部長、大館会長、平野静岡県歯会長、前畑理事、小野副会長、山中常務理事。前から2列目中央に別部理事、一番右に筆者。



よ坊さん

## 大阪府支部近況報告

大塚 卓 (20 回生・大阪府支部支部長)

大阪・関西万博も無事に閉幕しました。開催前はいろいろと難点もありましたが、実際には国内外から多くの人を訪れ、世界中の知恵や技術が集う充実した催しであったと思います。大阪万博で「第九」のイベントとして、「1万人の第九 EXPO2025」が2025年4月13日の開幕日に万博会場内で開催されました。同窓会16回生の黒田雅代先生がそれに参加されたとお聞きしました。大阪の元気と同窓会の元気を感じられる、良い機会になったのではないのでしょうか。

同窓会活動としては

8月23日、夏期講演会として道頓堀ホテルにて新潟県開業の佐久間 利喜先生をお招きし『一般開業医が進むべきデジタル化と残すべきアナログとの調和』の講演をしていただきました。

10月25日、グランフロント大阪インターコンチネンタルホテルにてレクリエーション食事を開催致しました。

同窓会も高齢化が進み、会員数も減少傾向ですが、互いに健康を気遣い、近況を報告し合いながら、これからも心豊かな交流の場を育んでいきたいと願っております。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

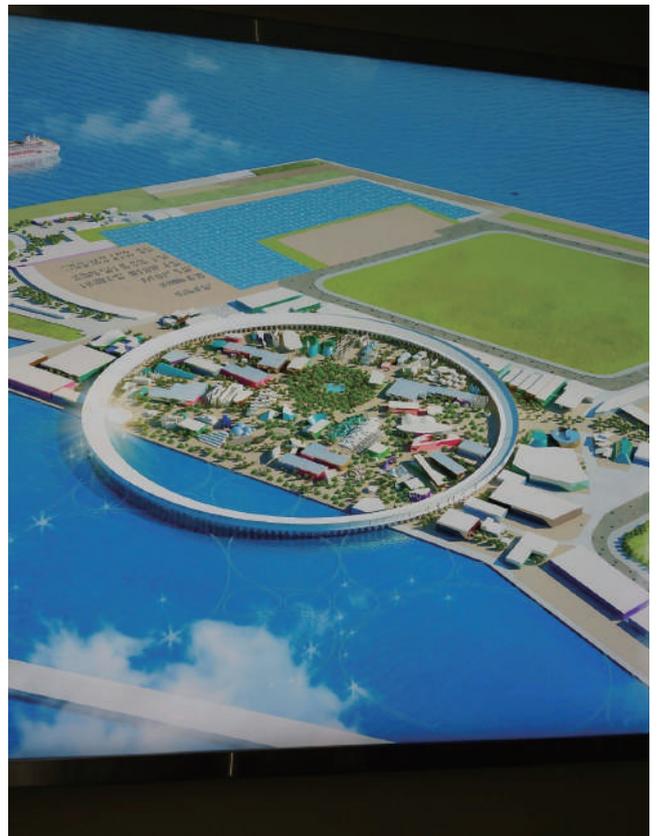
## 勲章授与

《鹿谷 實先生、このたびのご受章誠にありがとうございます》

令和7年秋の叙勲に於いて、当支部会員3回生 鹿谷 實先生が、旭日双光章の荣誉に耀かれました。

先生は、大阪府歯科医師会において社会、地域で長きにわたり理事職としてご活躍され、現在も相談役として務められております。

支部会員一同におきまして、大変喜ばしく誇らしい思いであります。





## 兵庫県支部学術講演会報告

小西健仁 (34 回生・兵庫県支部)

日時：2025年10月4日(土)

場所：神戸 神仙閣

講師：石井 宏先生

演題：再根管治療について

今回は石井 宏先生の講演が4回目になります。毎回わかりやすく説得力のある講演が大好評です。今回は事前に受講生から聴きたい内容をリクエストしました。

感染根管処置におけるガッタパーチャ除去の効率的な手技と器具、歯根破折とE-P病変の鑑別診断、サイナスがらみの根管治療の勘所と対処。それぞれの丁寧に解説していただきました。

最新の手技や器具を知ることが出来たことと、最も感銘を受けたのは感染根管処置で根尖病巣がありオリジナルの根管形態が失われているものは、歯内療法の専門医が治療しても成功率が40%であること。

つまり抜歯や何もしない(経過観察)を選択することに抵抗があるが、それも大切な選択肢であると言う事。

クラウンを除去してラバーダム防湿が出来ない残存

歯質であれば、治療不可つまり抜歯になるということ。

日本における保険の範囲内での歯内療法ではかなり制限があると感じました。

やはり自由診療で時間をしっかり取って、マイクロスコープを使用し、確実にラバーダム防湿下での治療が必須になってくると思いました。

今後全ての患者様に提供出来る事は出来ませんが、可能な限り取り組んで行きたいと思います。

講演後の懇親会では石井先生を囲って神仙閣の美味しい本格中華料理と楽しい時間を過ごしました。

食事中にも関わらず追加の質問に丁寧に答えて下さった石井先生に本当に感謝申し上げます。

毎年大好評のビンゴ大会も大変盛り上がりました。

## 〈石井 宏 先生プロフィール〉

米国歯内療法学会認定 歯内療法専門医

1993年 神奈川歯科大学卒業

2006年 ペンシルベニア大学歯内療法学科卒業

在籍中の業績

歯学部学生最優秀指導賞

歯科医師卒後研修優秀指導賞





実績と信頼  
折り紙付き。



アサヒプリテックは、金属資源のリサイクル事業の分野で、  
独自技術により皆様から絶大な信頼をいただいております。  
業界No.1のシェアを実現しています。  
また、お預かりした金属の分析から売却までを  
Web上で安全に運用できる



ASAHIPRETEC

「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。  
歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。

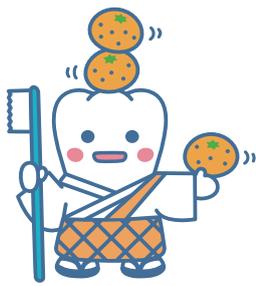
アサヒメタルアカウントシステム

SDGs 取組実施

### アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サブアタワー 11F  
TEL: 03-6270-1820 FAX: 03-6270-1825 URL: <https://www.asahipretec.com/>  
[営業所] 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・沖縄





よ坊さん

## 高齢社会におけるオーラルフレイル、口腔機能低下症、低栄養患者に一般外来で考える事、やるべきこと

炭井俊人 (34 回生・和歌山県支部)

2025年9月27日(土)和歌山市内、「ホテルグランヴィア和歌山」にて、支部総会及び学術講演会を行いました。総会では木村幸弘支部長の進行のもと、挨拶に始まり、報告、予算案や計画の協議が滞りなく行われ、閉会しました。

その後、学術講演会が行われまして、講師は2023年に定年退職された後、神奈川歯科大学特任教授に就かれ、オーストリアン咬合学、歯科心身医学、オーラルフレイル、3Dプリント義歯などのテーマでの研究と臨床でご活躍されている玉置勝司先生をお迎えしました。

昨今多くみられるようになったと感じるオーラルフレイルの患者さんに対し、診療体制のイノベーションについてわかりやすく解説して下さった話と3Dプリント義歯のお話がとても印象的で、自分の将来の診療に大きく関わり、自身がどうあるべきなのか考えさせられました。将来、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、管理栄養士が集結して協働する時期が到来し、未来の歯科医院の形を示されていましたが、そう遠く

ない未来ではないのではないかとここでも考えさせられました。3Dプリント義歯については、安定した精度での作製や、複製、また通院が難しい患者さんへの対応可能とした幅広さについて、解説されていました。ほとんど調整が必要ないレベルまでの仕上がりでスピーディに対応できる点としては、近い将来にとっても必要であると感じました。

懇親会は四川料理の「CHINOIS SUMII (シノワスマイ)」にて、開催しました。今回も学術講演会の延長のような会話になり、先生同士の交流を深められると同時に、お互いの近況を語り合いました。現在の臨床での問題点も話題として取り上げ、これからの臨床に取り組む方向性を感じ取れた質疑応答であったという間に時間が過ぎてしまいました。

学術講演会は現在2年に一度開催予定しておりますが、毎年の開催が実現できれば盛り上がるのではと感じております。





## 香川県支部学術講演会・懇親会の開催

服部啓吾 (19回生・香川県支部)

2025年8月30日（土）17時30分より高松国際ホテル「寿」にて学術講演会を開催しました。講師には香川県出身者で初めて教授に就任されました香西雄介教授（神奈川歯科大学教育企画部副部長）をお願いしました。県内から同期生をはじめ多くの先生方にお越しいただきました。また、四国内出身でも初めてのことで、愛媛県・徳島県の県外会員からも参加していただきました。演題は「日常診療に役立つ画像診断と歯学部教育の今」。最初に現在の学生の実情について話があり、在学の時と比べて大きく変わった現

状に皆さん驚かされていました。また、画像診断の重要性、観察力についても再認識させられました。講演会の後は懇親会：教授就任祝いを兼ねて同会場にて行われました。

教授は空手部ということでお酒も入りそれなりに楽しい宴席になりました。県内よりは他にも大学にて学生教育、臨床に携わっておられる方もいらっしゃいます。県内・四国内より入学される方が一人でも多くなることを期待しています。





## 熊本市支部学術講演会 横田久世先生をお招きして

工藤隆弘 (9回生・熊本市支部学術理事)

2025年10月4日(土曜日)17時 歯科医師会館にて、横田久世先生の「自分を好きになり 愛する自分の心の土台を作ること」講演会が開催されました。横田さんは40歳(2017年)で突然の高熱、足の痛みで入院、10日間意識不明から身体も動かさない声も出ない状態から、医師より「電撃性紫斑病」と告げられ、手指と両足を切断することを宣告されます。術後の激痛に耐えながら、体が半分になったと思った瞬間「どうやって生きていけばいいのか、死にたい」と泣いてばかりの毎日だったそうです。やがてリハビリが始まり、初めて外に出た時の空気の臭いを感じたこと、車いす生活から義足をつけて立てた時は感動したそうです。そして早く自宅に帰りたい、娘の卒業式に出たいの一心から前向きになっていきました。しかし退院後の日常生活は想像以上の苦悩と葛藤の連続。突然障害者になった母親とどう接したらいいのか困惑する家族。小学生の娘さんから「学校に来ないでほしい」と言われ、人目を避けるようにしていたそうです。しかし心の中に「最後に笑って死にたい」という強い意志をもたれて

いた横田さんは、熊本市マラソンにすることを決意されます。ほとんど走ったこともないのに、応援の人の声に勇気もらい挑戦できた時、娘さんが「お母さんごめんなさい」と泣かれ、心がつながり、「障害者として生きる」「障害者の家族として生きる」スタートを切れたと話されました。その後クラウドファンディングを立ち上げ、ホノルルマラソンにも挑戦されたことから、今まで気づかずあたりまえにしていた事、人と人が支えあうことの感謝、「障害があってもなくても心は何の区別のない同じ人間、心のバリアフリー」とメッセージを届ける様々な活動を積極的にされています。横田さんは講演の始めにご自分の生い立ちも話され、笑いと涙と感動の60分でした。持ち前の明るさや強さ、リハビリやサポートされた医療関係者の方々の地道な取組にも頭が下がる思いでした。この講演をお世話してくださった谷川ひろみ先生にも感謝申し上げます。



工藤隆弘先生





## 鹿児島県支部「三笠会」学術講演会

鮫島明宏 (16 回生・鹿児島県支部)

2025年8月30日、16時30分より鹿児島市bb13 barにて、鹿児島県支部「三笠会」令和7年度学術講演会が開催されました。

講演会に先立ち支部長の安田先生より最近の本大学の動向の報告がありました。

講師の玉木直文先生は、昨年1月に徳島大学より鹿児島大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野教授として着任されておられまして、今回「歯周病と腸内細菌（大腸がん）」というタイトルでご講演を頂きました。

講演の内容としましては、近年、歯周病及び歯周病原細菌が腸内細菌叢にも影響を与え、大腸がんの発症や増悪に関与している可能性が示唆されています。とは言え、口腔内と大腸は遠く離れているようにも思われ、なぜ口腔内細菌が大腸がんに関与しているのか疑問に思われる先生方も多々いらっしゃると思います。そこで本講演では、その研究の歴史から大腸がんの発症メカニズム、予防まで説明して頂きました。

最後に、肝炎ウイルスが肝がんの、ピロリ菌が胃がんの、Hpウイルスが子宮頸がんの原因とあたりまえに言われるように、歯周病菌が大腸がんの原因だと言われる新しいエビデンスになるように今後も研究していきたいとしめくくっておられました。



鮫島明宏先生

この講演会・懇親会の会場であるbb13barは鹿児島でも最も古い老舗の洋式レストランで、料理も素晴らしく三笠会ではたびたび懇親会の会場として使用しておりますが、前回の三笠会よりレストラン内の大型TVをモニターにして講演会会場としても使用し好評を得ています。

また、bb13 barでの懇親会の後は、場所を天文館の店へ移し、おいしい芋焼酎勢いもあり、大変盛り上がりしました。

玉木先生及び参加された先生方、大変お疲れさまでした。



## 18回生クラス会

山田良広 (18回生)

我々第18回卒業生は、卒後38年同窓会を2025年10月19日正午から、グランドプリンスホテル新高輪で開催しました。同ホテルは卒業時の謝恩会を開催した思い出の場所でもあります。当日品川駅からホテルまでの坂道を上ってくるわけですが、到着すると皆異口同音に「坂がきつい！」と嘆いていましたが、謝恩会当時は何でもなかった坂がこんなにもきつい、時の流れをしみじみと感じさせられました。

前回30周年クラス会から8年後と、いささか中途半端な時期となりましたが、前回30周年から5年後の開催予定がコロナ禍で延長となり、本年度で筆者が教授職を退任するタイミングでもありその祝賀会を兼ねることで今年の開催になりました。

当日は小雨であいにくの天気でしたが、前日の同窓会50周年祝賀会からの参加など全国から43名が駆けつけました。卒業以来の再会も多く皆歳を重ね風貌も変わり、しばらく誰かわからず、おどおどする面々ばかりでしたがそこは同級生、会が始まると38年の時を忘れさせる盛り上がりでした。

大学の現況報告では現在の学生気質が昔とは全く違い、一見いい子ばかりだということや、学生は入学式と卒業式以外では校歌を歌う機会がないこと、学内では平常時はもちろん稲岡祭でもまったくお酒が飲めないことや、園遊会が消滅したことが紹介されると、昔

はよかったとの声各テーブルから聞こえてきました。その後各自の挨拶があったり、ステージ上で昔の班の仲間と写真を撮ったりと約2時間があったという間に終わってしまいました。

食事は着席ビュッフェスタイルでしたが、発起人としては食事やお酒が足りなくなったらどうしようと心配していましたが、まったく杞憂に終わり、逆に半分ほどしか食べられていないことに、もう若くないと痛感しました。

二次会はホテルから品川駅の途中にある、アウトバックステキハウスで行いましたが、ほぼ全員が参加して、こちら也大盛り上がりとなりました。その際次回以降のクラス会は各地域で幹事を決め毎年開催することが提案されました。毎年日本各地で開催されることで、東京までは遠く出席不可能でも近くなら出席可能な同級生に来てもらう意味もあります。とりあえず来年は今富収治君が幹事で旭川開催、再来年は和田圭司君が幹事で四国開催が決まり(?)ました。

16時過ぎに二次会終了、お開きになり、小雨の中三々五々に夜の街に消えていきました。

なおクラス会を開催するにあたり、同窓会本部からクラス会助成金をいただき有効に使わせていただきました。御礼申し上げます。



## 31回生クラス会 卒後25周年記念クラス会報告

前畑 香 (31回生)

2025年11月16日(日)午後1時より、横浜ベイシェラトンホテル内「中華料理彩龍」にて、神奈川歯科大学第31回生(2000年卒)のクラス会が開催されました。本クラス会は、第31回生クラス会実行委員会(青木宏道〈長野県支部〉・佐氏英介〈神奈川県支部〉・大橋桂〈大学支部〉・前畑香〈神奈川県支部〉)の企画・運営によるものです。参加者は、北は北海道、南は長崎・大分から総勢36名に及び、卒後開催された大規模なクラス会としては2回目となりました。本年、卒後25年を迎える第31回生は、5年前に予定していた「卒後20周年記念会」が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止を余儀なくされました。しかし、グループLINEを通じて卒業生間の交流が続いていたこともあり、コロナ禍の終息を経て、改めて念願の再会が実現しました。当日は、25年ぶりの懐かしい再会を喜び合いながら、近況報告や学生時代の思い出話に花が咲き、充実した2時間のひとときとなりました。また、神奈川歯科大学に現在も在籍されている歯科診療支援学講座クリニカル・バイオマテリアル分野の大橋桂准教授より、大学の近況と附属病院やキャンパスセ

ンターなど母校の現状についてご説明がありました。ご子息・ご令嬢が在学あるいは入学を希望される同窓も多く、皆熱心に耳を傾けていました。1次会終了後は、有志23名が北海道横浜天理ビル店にて2次会を開催。さらに親睦を深めつつ、次回のクラス会は「卒後30周年(5年後)」、そして「卒後35周年(10年後・現役世代が60歳)」に再会することを約束しました。

SNSを活用することで、ほとんどの同窓と連絡を取ることができ、改めて絆を確認する良い機会となりました。幸いにも第31回生(退学者除く)は全員が健在であり、今後も一人として欠けることなく再会を重ねることを願いつつ、盛会のうちに閉会いたしました。

なお、クラス会助成金については、5年前に予定していた会の際に発生した横浜ベイシェラトン宴会キャンセル違約金(約137,000円)の負担金の一部に充当させていただいたことをここに報告いたします。このたびの開催にあたり、神奈川歯科大学同窓会大館満会長をはじめ、本部同窓会役員の先生方のご高配を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



## 第32回生 卒後25周年同窓会報告

前畑 洋次郎 (32回生)



前畑洋次郎先生

2025年10月13日(月)、横須賀市にて神奈川歯科大学第32回生の卒後25周年同窓会が開催されました。卒業から四半世紀を経たこの日、全国各地から35名の仲間が集い、旧友との再会に笑顔と歓声があふれる一日となりました。

午前中は、同窓会実行委員会の企画により、資料館および附属病院の見学が行われました。新設された資料館では、学生時代を思い出させる展示や貴重な御検体を通じて、当時は懐かしみながら新たな学びを得ることができました。本部棟の学生が24時間利用可能な明るいラウンジ、そして附属病院の最新設備は、私たちの在学当時とは見違えるほど進化を遂げており、一同大いに感銘を受けました。

見学の最後には、偶然執務中であった鹿島理事長よりご講話をいただき、大学の近年の取り組みや次世代の入学促進に関するお話を伺いました。

午後からはセントラルホテル横須賀に会場を移し、懇親会が開催されました。和やかな雰囲気の中、思い出話や近況報告が尽きることなく、会場は終始笑顔に包まれました。地域で開業し歯科医療に尽力する仲間、

大学や病院で教育・研究に携わる仲間など、それぞれの立場で積み重ねてきた経験が語られ、互いに刺激を受けるひとときとなりました。食事を囲みながら、学生時代の授業や実習、試験の苦労話、クラブ活動の思い出などで笑い合い、時には医療や経営について真剣に意見を交わす場面もありました。会の終盤では次回同窓会の開催計画が発表され、32回生としての絆を今後も深めていくことを確認しました。

最後は全員で記念写真を撮影し、再会の喜びと未来への希望を胸に散会しましたが、一部の“飲み足りない”メンバーはその後の二次会でも盛り上がり、終電まで賑やかな時間が続きました。

今回の同窓会は、単なる再会の場にとどまらず、母校の発展を肌で感じるとともに、医療人としての原点を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。資料館や附属病院の見学を通じて新たな気づきと意欲を得ることができ、参加者一同、互いの健康と今後のさらなる活躍を願いながら、次の再会を心待ちにしています。

最後に、学内見学にご協力いただいた総務課の勝野賢一様、附属病院見学にご協力いただいた保存修復学分野の日高恒輝先生に、心より御礼申し上げます。



▲校門前集合写真



◀鹿島理事長と集合写真



二次会▶

## 競技スキー部 OB 会開催報告

亀山 正 (25 回生)

2025年11月9日(日)12時より東京高輪の【響HIBIKI】にて競技スキー部OB会が開催されました。

参加者はOB・OGが16名、現役部員4名、木本克彦部長をはじめ、上は14回生の方から下は54回生の方まで幅広い年代のOB・OGの方に参加していただきました。

美味しい料理と美味しいお酒を存分に楽しみながらOB会の現状、今のスキー部の現状の報告を受け、今も活躍している現役部員をOB会で更なる支援を継続しなければならないと感じました。

終始和やかな中で、大先輩の方々の当時の苦労話や昨今の大学の現状を在籍している先生方よりお聞きして、歯科やスキーを取り巻く環境などがかなり変化していることを聞き及びました。多岐にわたる話題が盛

り上がる中で、時間はあっという間に過ぎました。

1次会では話は尽きないため、有志により品川のダーツバーへ行きました。

一見、スキー部とは縁の無いスポーツかと思いきや、先生方の腕前はなかなかのものでした。

大いに盛り上がりましたが、時間は過ぎるのは早く翌日は平日ということもあり、後ろ髪惹かれながら解散した次第です。

ご多忙の中参加していただき、また多大な支援をいただいたOB・OGの先生方に感謝申し上げます。

これからも継続してOB会を開催し、現役部員達の支援とOB・OGの交流をおこなっていきたいと思います。



# 令和7年秋の叙勲 表章



## 石田覚也先生 旭日双光章受章

(8回生・群馬県支部)

令和7年11月3日 受章

身に余る光栄。予防歯科を専攻し、県民の意識向上に尽力できたことが思い出深い。支援していただいた多くの方々と妻に感謝し、今後も皆さまの健康増進に尽力したい。



## 角谷隆司先生 旭日小綬章受章

(2回生・北海道支部)

令和7年11月3日 受章

先生は、歯科医師、幼稚園園長、北海道議会議員等多くの役職に携わりました。明るく、飾らない人柄で、いつも笑顔が絶えない、優しい先生です。

(北海道支部 支部長 金山美博)



## 赤城公德先生 瑞宝双光章受章

(4回生・熊本県支部)

令和7年11月3日 受章

先生は熊本県歯科医師会に於いて連盟常任理事、社保委員等を又、熊本市歯科医師会でも医療管理理事等を務め、学校歯科医としても50年務められました。

同窓会に於いても本部副会長、代議員会議長、九州地区連合会監事、また熊本県支部長としても貢献いただきました。長年にわたる実績が評価されたものと思います。

先生はとても面倒見が良くリーダーとして皆を引っ張って頂きました。今後も更なる活躍を期待しております。

(熊本県支部 支部長 牧 正仁)

# 令和7年度 表彰

## 厚生労働大臣表彰受賞



田岡計久先生 (18回生・徳島県支部)

令和7年11月22日 受賞

このたびは、歯科保健事業功労者表彰として厚生労働大臣表彰の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。長年にわたり共に活動してまいりました関係各位のご指導とご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

本表彰を励みとし、地域の歯科保健のさらなる充実と発展に微力ながら尽力してまいる所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げ、御礼のご挨拶といたします。

## 北海道社会貢献賞受賞



氏橋潤一先生 (3回生・北海道支部)

令和7年11月8日 受賞

先生は道東の標茶町で長年、地域医療に従事されました。

釧路路歯科医師会では、北海道に戻った同窓の為、尽力され、後輩に慕われている優しい先生です。

(北海道支部 支部長 金山美博)

神奈川歯科大学同窓会

甲種正会員各位

神奈川歯科大学同窓会

会 長 大 舘 満

令和 7 年度

## 神奈川歯科大学同窓会定例総会開催のお知らせ

下記により令和 7 年度神奈川歯科大学同窓会定例総会を開催いたします。お忙しい事とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：令和 8 年 2 月 28 日（土）午後 6 時（代議員会終了後）

場所：神奈川歯科大学 キャンパスセンター 2 階 多目的ホール

議事

第 1 号議案	令和 6 年度一般会計-1 歳入・歳出決算
第 2 号議案	令和 6 年度一般会計-2（事業運営安定化資金）歳入・歳出決算
第 3 号議案	令和 6 年度事業基金会計-1 歳入・歳出決算
第 4 号議案	令和 6 年度事業基金会計-2（名簿発行事業）歳入・歳出決算
第 5 号議案	令和 6 年度福祉共済部会計-1 歳入・歳出決算
第 6 号議案	令和 6 年度福祉共済部会計-2（同窓会年金）歳入・歳出決算
第 7 号議案	令和 6 年度奨学金基金会計歳入・歳出決算
第 8 号議案	令和 6 年度前受金会計歳入・歳出決算
第 9 号議案	令和 6 年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出決算
第 10 号議案	資産目録に関する件
第 11 号議案	令和 8 年度事業計画（案）
第 12 号議案	令和 8 年度一般会計-1 歳入・歳出予算（案）
第 13 号議案	令和 8 年度一般会計-2（事業運営安定化資金）歳入・歳出予算（案）
第 14 号議案	令和 8 年度事業基金会計-1 歳入・歳出予算（案）
第 15 号議案	令和 8 年度事業基金会計-2（プログラム変更費）歳入・歳出予算（案）
第 16 号議案	令和 8 年度福祉共済部会計-1 歳入・歳出予算（案）
第 17 号議案	令和 8 年度福祉共済部会計-2（同窓会年金）歳入・歳出予算（案）
第 18 号議案	令和 8 年度奨学金基金会計歳入・歳出予算（案）
第 19 号議案	令和 8 年度前受金会計歳入・歳出予算（案）
第 20 号議案	令和 8 年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出予算（案）
第 21 号議案	特別会員の承認に関する件
第 22 号議案	退会者承認に関する件

※ 資料ご希望の方は、神奈川歯科大学同窓会 事務局までご請求ください。

新規・乙種（1）会員の届出

甲種正会員の配偶者あるいは直系親族（甲種正会員1名につき乙種正会員は1名まで）に該当する方が届けを出すことで乙種での入会または乙種への会員種別変更が可能となります。

〈ご希望、お問い合わせは同窓会事務局まで〉

新入会者

菊地 香名子 (41回生・甲) 北海道支部  
黒木輝樹 (34回生・甲) 神奈川県支部

再入会者

笠嶋建吾 (28回生・甲) 東京都支部  
笠嶋莉瑛 (28回生・乙) 東京都支部  
向井 かつみ (19回生・乙) 神奈川県支部  
伊東 聡 (33回生・甲) 神奈川県支部  
川端 篤 (41回生・甲) 神奈川県支部  
土屋元雄 (12回生・甲) 静岡県支部  
甲斐直実 (32回生・乙) 大分県支部  
向井義晴 (19回生・甲) 大学支部

《褒章・叙勲・表彰について》

国（内閣府）・都道府県から褒章・叙勲を受章されたほかに、医療に携わり社会的に貢献した事を認められて（大臣表彰・都道府県・日本歯科医師会）から表彰を受章された先生方を会報（HP）でご紹介させていただきます。会報掲載をご希望の先生は、支部名、回生、お名前、受章（表彰）名・受章（表彰）日・写真1枚と簡単なコメント（50字程度）を添えて事務局にお届出ください。

『特別会員』

青山 亘 (元神奈川歯科大学 放射線学 助教授)  
2024.02 ご逝去

『正会員』

長野靖弘 (熊本県支部 19回生) 2025.07.11 ご逝去  
山崎直則 (東京都支部 09回生) 2025.08.01 ご逝去  
秋 政成 (神奈川県支部 15回生) 2025.08.10 ご逝去  
五十嵐 民雄 (北海道支部 07回生) 2025.08.24 ご逝去  
立山正博 (大阪府支部 16回生) 2025.09.08 ご逝去  
小林幹昇 (東京都支部 09回生) 2025.09.09 ご逝去  
東條利昭 (山形県支部 17回生) 2025.09.18 ご逝去  
黒木宏一 (神奈川県支部 04回生) 2025.09.21 ご逝去  
宮川康一 (神奈川県支部 01回生) 2025.09.25 ご逝去  
豊山洋輔 (神奈川県支部 12回生) 2025.11.11 ご逝去  
川村太助 (青森県支部 19回生) 2025.11.29 ご逝去  
亀澤千博 (北海道支部 05回生) 2025.12.10 ご逝去

正 誤 表

2025年7月に発行いたしました会報142号において、掲載内容に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】会報142号 13ページ

「令和6年度第1回表彰選考委員会報告」

(誤) 有功章 3回生 鷺頭 正大 (埼玉県支部)

(正) 有功章 2回生 鷺頭 正大 (埼玉県支部)

《編集後記》

会報143号は、同窓会創立50周年を迎えた本会の歩みを振り返るとともに、各支部報告や同期・クラス会の活動を通じて、同窓生同士の確かなつながりを改めて感じられる内容となりました。地域に根ざした支部活動や、世代を超えて続く交流の報告からは、母校を共にする絆の深さが伝わってまいります。来る2026年には、次なる節目を見据え、より多くの声と活動を紙面に反映できるよう、広報委員会として一層の工夫を重ねてまいります。本会報が同窓生の皆さまを結ぶ架け橋となることを願い、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集委員：加来 めぐみ (9回生) 金子宣由 (19回生) 濱野奈穂 (30回生) 市田佳子 (33回生) 角井早紀 (49回生) / 広報担当常務理事：川端啓義 (12回生) / 広報担当理事：新井宗高 (28回生) / アドバイザー：高橋 朗 (12回生)

神奈川歯科大学同窓会会報 143号

発行：神奈川歯科大学同窓会  
〒238-8580 横須賀市稲岡町82  
TEL：046-825-0524 FAX：046-822-3538  
URL: <https://inaoka82.com/> E-mail: [ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)

発行人：大館 満

発行日：2027年1月15日

印刷：一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22  
TEL：03-3952-5651



## 被災された同窓生への災害支援に関する経過報告（令和6年12月～令和7年11月末現在）

第63回代議員会（平成14年7月13日）にて福祉共済の災害等への見舞金が廃止となりました。その後は、災害により被災された会員の先生がいらした場合には支援金を募集し対応しておりました。災害見舞金は早急な対応が要求されることから、平成29年度に災害見舞金制度を立ち上げて、見舞金の対象となる災害の基準を定め、理事会承認で見舞金の対応をしております。

災害発生日	災害見舞金支払日	支払内容
全国各地での 令和7年8月6日からの豪雨	2025年9月9日	熊本県支部の1名の会員に災害見舞金 20,000 円をお支払い。 (内訳) ・床上浸水により地下の電源が全滅
		熊本県支部の1名の会員に災害見舞金 20,000 円をお支払い。 (内訳) ・自家用車が完全に水没
令和7年9月3日からの大雨・台風第15号	2025年11月17日	静岡県支部の1名の会員に災害見舞金 10,000 円をお支払い。 (内訳) ・診療室カーポートが破損

令和6年度災害見舞金予算額1,000,000円に対し、50,000円を被災された会員にお支払いしております。

（令和7年11月末日現在）

貴支部総会等の際に、支部会員の先生方から過去における被災状況の報告をお受けしたなどの話題がございましたら本部同窓会事務局までお知らせくださいますよう、宜しく願い申し上げます。



### － 保険はどこも同じではありません。明日への安心、ご相談ください。－

#### 取扱保険会社

東京海上日動火災保険(株) 損害保険ジャパン(株) 三井住友海上火災保険(株) セコム損害保険(株) チャップ損害保険(株) AIG 損害保険(株) キャピタル損害保険(株)	ソニー生命保険(株) SOMPO ひまわり生命保険(株) 三井住友海上あいおい生命保険(株) 東京海上日動あんしん生命保険(株) アフラック生命保険(株) メットライフ生命保険(株)
---	--

歯科医師賠償責任保険  
自動車保険  
火災保険



所得補償保険  
生命保険  
ゴルフ保険

GIAへお声をください。先生方の団体扱いの保険をご用意しております。

自動車保険、火災保険、所得補償保険、傷害保険、生命保険、医療保険、医師賠償責任保険、旅行保険等、取扱っております。

〒190-0022  
東京都立川市錦町2-1-1 タウンコート立川403号  
TEL042-524-3203（代表） FAX042-527-9776

株式会社GIA

〒151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-26-6 代々木シティ・ホームズ101号  
TEL03-3352-9351（代表） FAX03-3352-9551

回生  
(会員番号)ふりがな  
氏名

支部

旧姓

&lt;&lt; 勤務先情報 &gt;&gt;

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

勤務先名 【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

勤務先所在地 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

&lt;&lt; 現住所情報 &gt;&gt;

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

住所 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

&lt;&lt; 連絡方法 &gt;&gt;

1. 勤務先

2. 現住所

(送付を希望する方に○をつけてください)

≪ 空欄の箇所がある場合、既に登録(届出)してある情報の変更はいたしません ≫

会員の個人情報について「プライバシーポリシー」を定め、適切な取り扱い管理を行っています。  
この届出が同窓生名簿原稿となることにご理解をいただき、氏名・回生・支部・役職・勤務先の名称、住所、電話番号は  
掲載にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※ 市町村合併に伴う住居表示変更・市内局番の変更に伴う電話番号表示変更につきましてもお知らせください。

※メールでの登録情報変更については

[ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)

宛にお問い合わせください

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82  
ホームページアドレス <https://inaoka82.com/>TEL(046)825-0524/FAX(046)822-3538  
E-mailアドレス [ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)

## 【お願い】

2024 年度版名簿発行以降に住所変更等の届出をされていない方は正確な情報を名簿に掲載することができるよう、裏面の『登録情報変更届』用紙をFAX・またはメールにてご連絡ください。

また、一般公開ページの下記のサイドメニューからの届出もできます。

市区町村変遷情報(市町村合併・市制変更等)による住所表示変更、電話番号表示変更についてもお知らせください。



※個人情報の保護のため、会員ご本人からの届出を原則とします。

URL : <https://inaoka82.com/>

E-mail : [ob-jimu@kdu.ac.jp](mailto:ob-jimu@kdu.ac.jp)



神奈川歯科大学同窓会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町 82

TEL:046-825-0524 FAX:046-822-3538



# 医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計  
TAX ACCOUNTING

SOLUTION  
SERVICE

社労士業務  
SOCIAL &  
LABOR INSURANCE

医業経営  
コンサルティング  
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人  
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル  
TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881  
E-mail: ta@ac-systems.co.jp